

医療情報分科会 平成24年度活動報告

松江赤十字病院

世話人代表 加藤秀之

現行の世話人となった2年目の活動を報告する。

はじめに学会等を利用した世話人会を開催することを目標としたが、日程調整ができず開催には至らなかった。分科会活動を活発に行うには必要なことであり、今後の課題と考える。

具体的な活動としては、平成24年度本会学術総会において昨年度に作成したシステムマップの紹介と利用法についての提案を行った。提案として、各モダリティやシステムを導入する際に施設間での情報交換に利用出来ること、また災害時の施設間支援に利用出来る可能性などを挙げた。システムマップの更新については、利用度などをふまえて検討することとしていたが、先ごろ公開された「ホームページ内容充実のための意識調査」を受けて、今後の活動として更なる充実を図ることとした。

次に現在進行中の内容として、医用画像表示用モニタの運用に関するアンケートを行い、その結果をふまえて平成25年度の本会学術総会にてシンポジウムを企画している。

その他、可搬媒体による画像連携については課題も多く関心も高いことから、今後の活動に繋がりたいと考える。

また、初年度より日常的な問題点などについて会員同士で容易に情報交換ができる方法を模索していたが、成果を上げることができなかった。この点については、ホームページの更新にも期待したい。

最後に本会の活動が有意義なものとなるよう、今後も協力させていただきこととし結びとする。

平成25年3月25日

西村英明（福井赤十字病院）

西小野昭人（熊本赤十字病院）

加藤秀之（松江赤十字病院）